

3 都市緑化推進事業

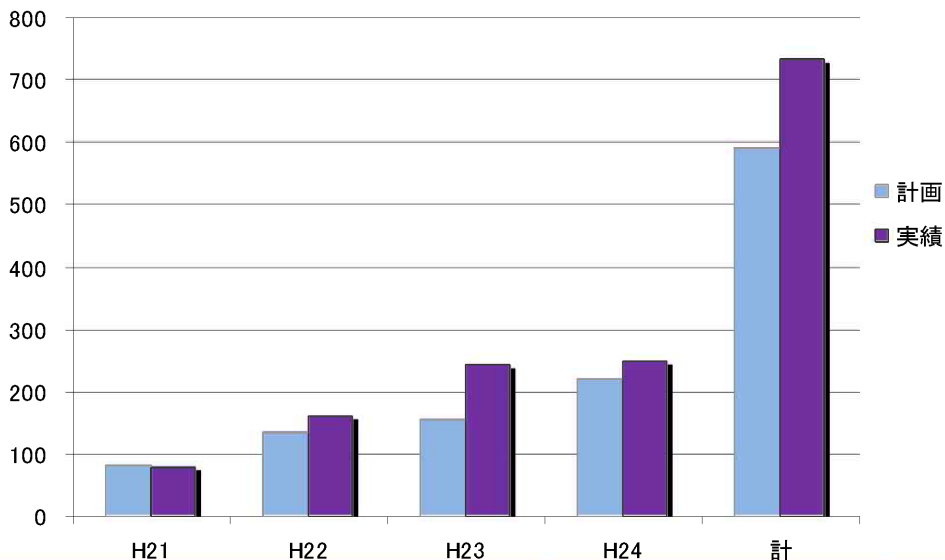
都市における樹林地の保全・創出を図る事業や、民有地の緑化、美しい並木道の再生、県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへの支援に要する経費を市町村に交付する。

(1) 実績

- 平成 24 年度までの計画 590 件に対し、733 件の事業に助成。
全体計画 1,144 件に対する進捗率は約 64%となっている。
- 美しい並木道再生事業は、すでに全体計画を上回る箇所数を実施。(表 3-3-1)

【年度別実績及び進捗率】

実施数(箇所)



区分	H21	H22	H23	H24	計	全体計画 <進捗率>
計画	82	134	155	219	590	1,144
実績	80	162	242	249	733	<64.1%>

【表 3-3-1 実施箇所数】

区分	全体計画 (H21~H30)	実績計	進捗率
身近な緑づくり事業(市町村交付金事業)	60箇所	52箇所	86.7%
緑の街並み推進事業(民間への間接交付事業)	460件	318件	69.1%
美しい並木道再生事業(市町村交付金事業)	24箇所	61箇所	254.2%
県民参加緑づくり事業(市町村交付金事業)	600回	302回	50.3%

[資料編:資-1-8]

●身近な緑づくり



用地買収による緑地の保全（扶桑町）

「美しい愛知づくり景観資源 600 選」に選ばれた名鉄犬山線扶桑駅近くの樹林地（面積約 0.89ha）を町が買い取り、緑地を保全。

●美しい並木道再生



並木道再生（豊川市）

市民に「桜トンネル」と親しまれている並木道の再整備。老木の桜を植え替え、郷土風景を次世代へ承継。

●緑の街並み推進



壁面緑化（小牧市）

フッキソウ、ヤブコウジ、ツワブキなど 40 種の植物を植栽し、生育状況等を検証。



屋上緑化（名古屋市）

オフィス兼マンションの屋上緑化を整備。約 80 m²の芝生に、菜園、花壇を整備し、常緑高木のシマトネリコを植樹。



空地緑化（大府市）

知多半島の生態系ネットワークづくりの一環として JR 東海道線大府駅近くで企業がビオトープ（面積約 1,100 m²）を整備し、一般に開放。



駐車場緑化（名古屋市）

COP10 に併せてホテルの駐車場緑化を整備。名古屋工業大学の協力により、環境変化の調査を実施。

●県民参加緑づくり



県民参加による植栽
(大府市)

ニツ池公園で市民が育てたドンゲリの苗木などを市民参加により植樹。



竹林づくり講座
(知多市)

佐布里池の周囲の竹をチップ化する竹林整備、竹工作などの竹林づくり講座を開催。



森づくりリーダー育成講座
(名古屋市)

樹林管理や自然観察会などの森づくり活動に取り組む指導者を育成するため、知識、技術を身に付けることを目的とした講座を開催。



県民参加による園庭芝生化
(みよし市)

園児やその家族、地域の方々の参加でポット苗方式の芝生化を実施。3年間で10市31施設約27千㎡を芝生化。



保育園の園庭芝生化
(一宮市)

園児のけがの減少、環境や緑化への興味の増加などの多様な効果がある園庭の芝生化。



ビオトープの整備
(みよし市)

ビオトープを整備し、カキツバタ、ショウブ、アヤメなどを植樹。



ビオトープの整備 (豊橋市)

吉田方小学校の運動場にビオトープ(面積約132㎡)を整備し、周囲にクスノキ、コナラなどを植樹。



小学校の緑化 (扶桑町)

横浜国大名誉教授の宮脇氏の指導により校庭にシイ、タブ、カシなどを植樹し、ビオトープを整備。



ハンギングバスケット
(蒲郡市)

JR東海道線蒲郡駅前広場でハンギングバスケットを整備。その後、継続して市民ボランティアにより維持管理。

(2) 成果・波及効果

- 県民参加緑づくり事業で、延べ 3 万 9 千人の県民が植樹活動に参加している。
(表 3-3-6)

【表 3-3-6 県民参加人数】 (人)

区 分	延べ参加人数			
	H21	H22	H23	計
県民参加緑づくり事業	5,969	13,750	19,279	38,998

- 市町村における緑化に関する独自の取組が増加している。(表 3-3-7)

【表 3-3-7 市町村の取組状況】 (件)

区 分	H20	H23
制度 (建物緑化、緑化地域制度、都市緑化基金 など)	76	110
イベント (植樹際、緑化講演会、その他緑化に関するイベント)	25	76
合計	101	186

[資料編:資-1-9~10]

- 優良な緑化件数が増加している。(表 3-3-8)

【表 3-3-8 優良な緑化件数】 (件)

区 分	H21	H22	H23	合計
身近な緑づくり事業 (市町村交付金事業)	5	11	8	24
緑の街並み推進事業 (民間への間接交付事業)	7	23	29	59
美しい並木道再生事業 (市町村交付金事業)	4	13	14	31
県民参加緑づくり事業 (市町村交付金事業)	8	13	13	34
合計	24	60	64	148

※各事業の対象となった取組について、市町村計画等への位置づけや、地域の土地利用への影響、住民参加の度合い、緑化の規模等の項目で点数評価し、満点の5割以上を優良な緑化と位置づけている。

[資料編:資-1-10~16]

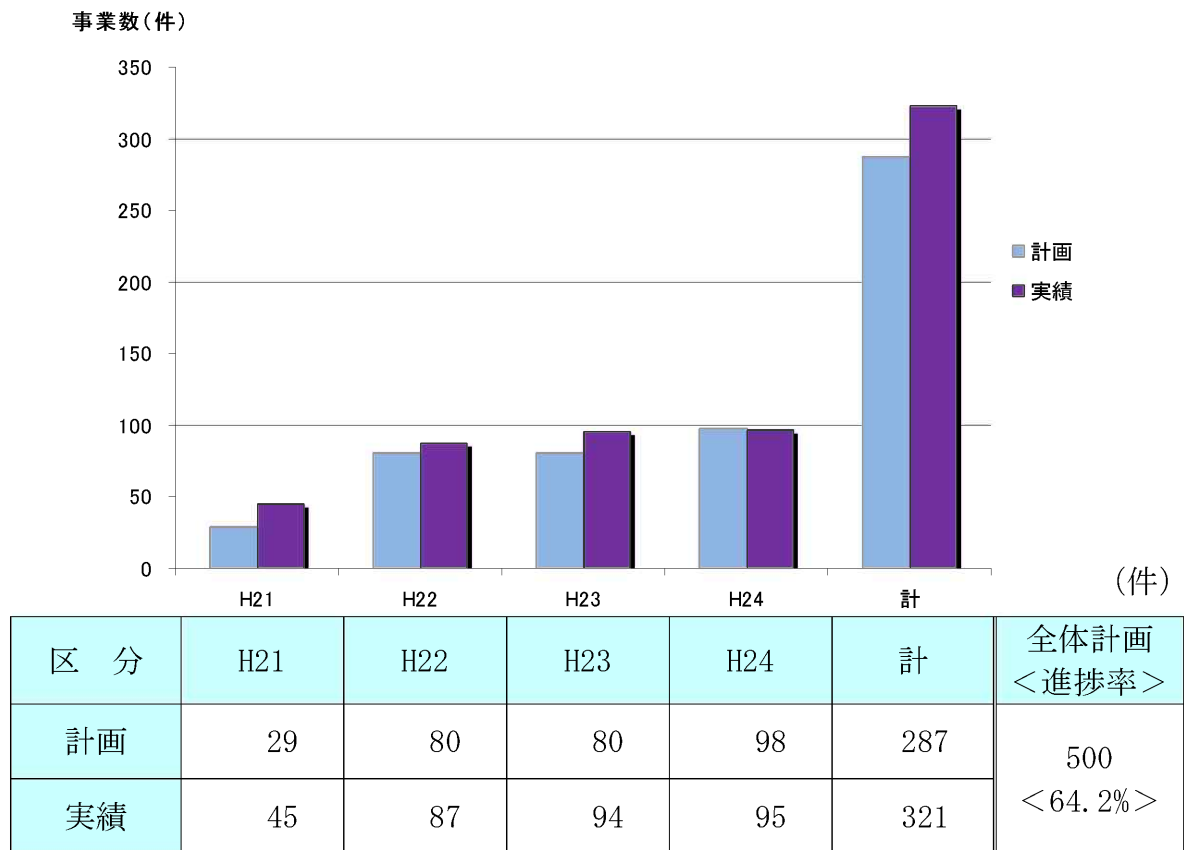
4 環境活動・学習推進事業

多様な主体による自発的な森と緑の保全活動や環境学習の一層の進展を図るため、NPO、市町村等を対象に企画提案型の交付金事業を実施し、活動に対する支援を行う。

(1) 実績

- 平成24年度までの計画287件に対し、321件の活動に助成。
全体計画500件に対する進捗率は約64%に達している。
- 交付対象団体や事業への応募事業数は、毎年度着実に増加している。
(表3-4-1)

【年度別実績及び進捗率】



【表3-4-1 応募事業数の推移】 (件)

区分	H21	H22	H23	H24
実績	78	97	100	104

[資料編:資-1-17]

【環境活動、環境学習の状況】



森・緑の育成活動（日進市）

遊歩道の整備及びその周辺の除伐作業を実施。また、里山の森づくりと森の恵みについて体験し学ぶ親子里山セミナーを開催。



水と緑の恵み体験（瀬戸市）

水生生物や野鳥の営巣状況、鳥類の生態を観察・学習するとともに、森から海へと水の大切さを学習する事業を開催。



森林文化の体験・学習（豊田市）

上流域と下流域の住民交流による、放置林の間伐及び枝打ち作業などの体験講習会を開催。



太陽・自然の恵み学習（西尾市）

保育園、小学校、病院等10カ所に緑のカーテンを設置し、体力の弱い子供たちや病弱な高齢者が快適に過ごす環境づくりを実施。また、園児が交代で水やりを行い、日々の変化を観察することで、自然に親しみながらカーテンの働きを体感。

（2）成果・波及効果

○ 交付対象となった活動等への参加人数は、年々増加しており、3年間で延べ13万3千人となっている。（表3-4-2）

特に、生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催された平成22年以降、参加人数が急増しており、県民の意識の高まりをあらわしている。

【表3-4-2 活動への参加人数】

（人）

区分	H21	H22	H23	計
延べ参加人数	13,002	52,485	67,376	132,863

5 森林整備技術者養成事業

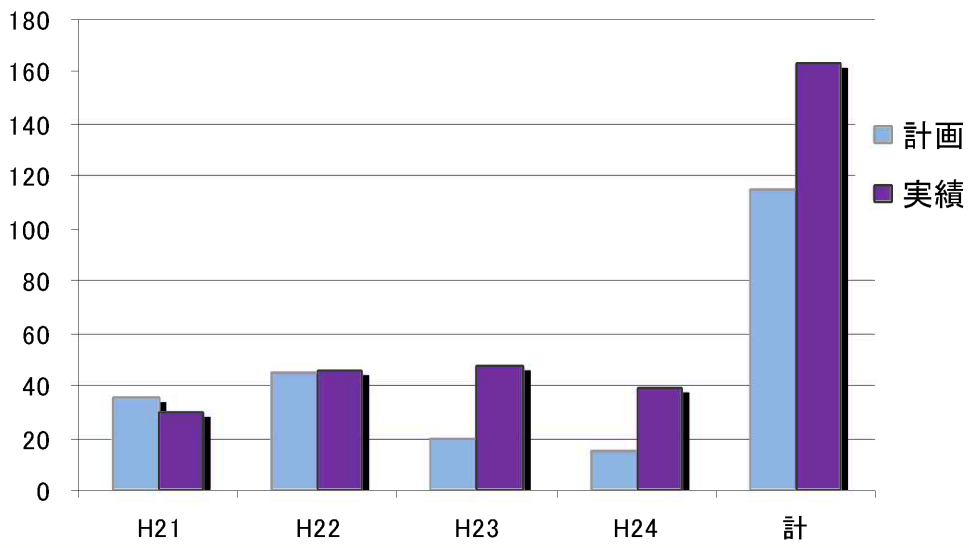
通常の森林整備より作業条件が悪い事業に従事するために必要な技術・技能を短期間で習得させる研修を実施し、技術者の確保、育成を進める。(表-3-5-1)

(1) 実績

- 平成24年度までの計画115人に対し、163人の技術者を養成。
全体計画200人に対する進捗率は約82%に達している。

【年度別実績及び進捗率】

受講者数(人)



区分	H21	H22	H23	H24	計	全体計画 <進捗率>
計画	35	45	20	15	115	200
実績	30	46	48	39	163	<81.5%>

【表 3-5-1 研修内容及び日数】

(日)

区分	内 訳	日 数
技能講習	玉掛技能講習	3
	クレーン講習	3
	高所作業車技能講習	2
	車両系建設機械運転技能講習	5
	はい作業主任者技能研修	2
実技研修	密生人工林の間伐及び道沿い人工林の間伐 トラッククレーン積み等	11
見学講義等研修	危機管理アセスメント、 低コスト林業、原木市場の見学	3
計		29